中町北小学校　屋内運動場　天井等耐震化工事

図面リスト

図面番号	図 面 名	縮 尺	図面番号	図 面 名	縮 尺	図面番号	図 面 名	縮 尺
A－01	表紙・図面リスト	－	E－01	特記仕様書	－			
A－02	改修工事特記仕様書(1)	－	E－02	電灯設備撤去図	1：100			
A－03	改修工事特記仕様書(2)	－	E－03	電灯設備改修後図	1：100			
A－04	改修工事特記仕様書(3)	－	E－04	コンセント設備撤去図	1：100			
A－05	配置図(仮設計画)	1：200	E－05	コンセント設備改修後図	1：100			
A－06	平面図＜改修前＞	1：100	E－06	弱電設備撤去図	1：100			
A－07	平面図＜改修後＞	1：100	E－07	弱電設備改修後図	1：100			
A－08	断面図＜改修前・後＞	1：100	E－08	誘導灯設備撤去図	1：100			
A－09	矩計詳細図1＜改修前・後＞	1：30	E－09	誘導灯設備改修後図	1：100			
A－10	矩計詳細図2＜改修前＞	1：30	E－10	自火報設備撤去図	1：100			
A－11	矩計詳細図2＜改修後＞	1：30	E－11	自火報設備改修後図	1：100			
A－12	展開図＜改修前＞	1：100						
A－13	展開図＜改修後＞	1：100						
A－14	天井伏図＜改修前・後＞	1：100						

中町北小学校　屋内運動場　天井等耐震化工事　工事設計図　平成27年　2月

仕様書

Ⅰ 工事概要

1．工事場所　多可町中区鍛冶屋434

2．延床面積　853㎡

3．工事種目　建築主体工事、電気設備工事

4．工事内容　天井等耐震化工事

5．工期　契約日～平成27年9月30日
平成27年7月18日～平成27年9月30日(実際に工事着手できる期間)

Ⅱ 建築改修工事仕様

1．共通仕様

（1）図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）」（以下、「改修標仕」という。）による。また、改修標仕に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）」（以下、「標仕」という。）による。

（2）図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房営繕部監修の「建築物解体工事共通仕様書(最新版）」（以下、「解体共通仕様書」という。）による。
ただし，「解体共通仕様書」に記載されていない事項は，「公共建築工事標準仕様書（最新版）」(以下「標準仕様書」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書(最新版）」
による。なお、施工条件明示書は特記仕様書に含める。

2．特記仕様

（1）項目は、番号に ○印の付いたものを適用する。
（2）特記事項は、⊙ 印の付いたものを適用する。
⊙ 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
⊙ 印と ※印の付いた場合は、共に適用する。
（3）特記事項に記載の［　　］内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
（4）特記事項に記載の（　　）内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
（5）G 印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」（以下「グリーン購入法」という）の特定調達品目を示す。

3．提出書類等

本工事の施工にあたり、下記に定める図書等（番号に○印を付したもの）を工事監理者に提出して承認を受けるものとする。工事監理者は下記に定めるもののほか、必要な図書等の提出と承認を求めることがある。

番号	提出書類	期　限	部　数	備　考
①	工事請負契約書写	契約時	２　部	
②	工程表	契約後	２　部	
③	請負代金内訳書	契約後　１０日以内	２　部	
④	損害保険契約書 及び保険証写	契約後　１０日以内	２　部	
⑤	現場代理人、監理技術者、 主任技術者、専門技術者届	契約後　１０日以内	２　部	経歴、資格を記す
⑥	現場常駐職員届	契約後　１０日以内	２　部	経歴、資格を記す
⑦	下請業者等承諾	契約後　１０日以内 その都度	２　部	
⑧	使用材料機器等承諾願	その都度	２　部	
⑨	材料試験成績報告書	その都度	２　部	
⑩	工事記録報告書	週報として 週毎	２　部	内容
⑪	打合せ記録書	その都度	２　部	内容
⑫	変更工事見積書	その都度	２　部	
⑬	出来高承認願	その都度	２　部	
⑭	官公署出願書類控	その都度	２　部	
⑮	工事竣工検査願	工事完了　１０日以内	２　部	
⑯	工事竣工引渡書類 完了届、引渡書、検査済証、使用許可書、 届出書、工事保証書、鍵引渡書、 各種使用説明書	竣工時	２　部	
⑰	工事竣工引渡備品 予備材料 その他の資料、材料、器具類	竣工時	１　組	
⑱	竣工図 （図示の範囲は指示による）	竣工後　１０日以内	Ａ１　２部 Ａ３　２部	２つ折製本　文字入り ＣＡＤデータ提出
⑲	工事写真 （撮影箇所は指示による）	その都度	２　部 カラー・サービス版	一定の台紙に貼付し、撮影月日を明記すること。竣工時にアルバムに製本する。
⑳	竣工写真 （撮影箇所は指示による）	竣工後　１０日以内	２　部	・外観及び屋内主要室等、監督職員の指示する箇所(約　カット)を監督職員を協議し、決定した建築写真家により撮影すること。 ・写真はタイトル入りのハードカバー製本(ケース付)にし提出すること。 ※サイズ、色等仕様については作成前に監理者と協議のこと。 ※写真画像の電子データの一式を提出すること。
㉑	補助事業費申請用工事記録写真 ・通常提出する工事写真(着手・施工中・完成)とは別に、指示する項目ごとに工事写真(着手・完成)を提出する。	竣工後　１０日以内	指示する項目ごとに２部ずつ作成する	※施工箇所(撮影箇所)が分かるよう平面図に撮影方向を記載すること。 ※Ａ４版ファイルにまとめ、左側を着手、右側を完成とすること。 ※詳細な取りまとめについては、監理者の指示に従うこと。 ※写真画像、平面図、提出用資料の電子データの一式を提出すること。

4．補足事項

・設計書の数量並びに項目は参考とし、設計図及び設計書を併合し、何れかにあるものは工事に含み、何れにもない場合でも当然必要と思われるものは業者にて積算を行うこと。質疑日までに質疑なき場合は入札後の異疑は申し受けない。依って請負契約後、追加・変更工事以外は一切数量の過不足による工事の増減は行わないものとする。

・追加・変更工事については、市単価×落札率に依って変更の増減を行う。

・本工事に配置する交通誘導員は、原則として警備員等の検定等に関する規則（平成17年11月18日国家公安委員会規則第20号）等に基づき、交通誘導警備検定合格者（１級又は２級）を規制箇所毎に１名以上配置すること。請負者は配置した交通誘導警備検定合格者の検定合格証の写しを施工計画書若しくは下請届の書類に添付し工事監理者に提出のこと。

章	項　目	特　記　事　項

1 一般共通事項

①適用基準等
⊙ 建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課監修　最新版）
⊙ 工事写真の撮り方（改訂第二版）建築編（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）
⊙ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律
⊙ 資源の有効な利用の促進に関する法律
⊙ 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）
⊙ 石綿障害予防規則、その他
⊙ 労働安全衛生法、労働安全衛生法施行規則、労働安全規則

②工事実績情報の登録
※適用する　[1.1.4]

③品質計画等
⊙建築基準法に基づき定められる区分等の適用工事　(1.2.2)
※風速（Vo＝　32m／秒　）
※地表面粗度区分（・Ⅰ・Ⅱ・Ⓘ Ⅲ・Ⅳ）
⊙積雪区分　H12建告示第1455号　別表（32）

④電気保安技術者　[1.3.3]
工事現場におく電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。
・要　⊙不要

⑤条件明示項目
⊙現場説明書による　[1.3.5]

⑥発生材の処理等
※現場説明書による　⊙構外搬出適切処理　[1.3.8]

⑦建築材料等
本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の（１）～（６）の項目を満たすものとする。
（１）品質及び性能に関する試験データが整備されていること
（２）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること
（３）安定的な供給が可能であること
（４）法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること
（５）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること
（６）販売、保守等の営業体制が整えられていること
なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関（（社）公共建築協会　他）が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。
また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。

⑧化学物質を発散する建築材料等
本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の１）から５）を満たすものとする。
１）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
２）保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
３）接着剤はフタル酸ジ－n－ブチル及びフタル酸ジ－2－エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
４）塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
５）１）、３）及び４）の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。

また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。
規制対象外
1）JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品
2）建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品
3）下記表示のあるJAS規格品
a.非ホルムアルデヒド系接着剤使用
b.接着剤等不使用
c.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用
d.ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用
e.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用
f.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用
第三種
1）JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品
2）建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品
3）旧JISのEo規格品
4）旧JASのFco規格品

9 特別な材料の工法
改修標仕及び、標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。

10 技能士　[1.6.2]

適用工事種別	技能検定作業
防水改修工事	・アスファルト防水工事作業　・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業　・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業　・セメント系防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・FRP防水工事作業 ・左官作業　・内外装板金作業
外壁改修工事	・左官作業　・タイル張り作業　・建築塗装作業
建具改修工事	・ビル用サッシ工事作業　・ガラス工事作業 ・自動ドア施工作業
内装改修工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業　・カーペット系床仕上作業 ・ボード仕上げ工事作業　・鋼製下地工事作業　・左官作業 ・壁装作業　・大工工事作業　・タイル張り作業
塗装改修工事	・建築塗装作業
耐震改修工事	・鉄骨組立作業　・型枠工事作業　・とび作業　・補強工事作業
コンクリートブロック・ALCパネル工事	・コンクリートブロック工事作業 ・エーエルシーパネル工事作業
石工事	・石張り作業
植栽工事	・造園工事作業

⑪揮発性有機化合物の室内濃度測定
・文部科学省基準値以下であることを引き渡し前に確認すること。　(1.5.9)
なお、測定方法は厚生労働省のガイドラインに記載されている標準測定方法に基づいた方法とする。
合わせて、公立文教施設においては、「学校環境衛生基準」(平成２１年文部科学省告示第６０号)を遵守すること。
測定対象室：(アリーナ)
測定対象物質：ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、パラジクロロベンゼン、エチルベンゼン及びスチレンとする。

⑫完成図・施工図
【完成図(竣工図)】
・原寸版製本　(建築・設備)　２部
・Ａ３縮小版製本　(建築・設備)　２部
・電子データＣＤ－Ｒ(ＰＤＦ形式及びＪＷＷ又はＤＸＦ形式)
【施工図】
・原寸版製本　(建築・設備)　２部
・Ａ３縮小版製本　(建築・設備)　２部
【機器製作図】
・原寸版製本　(建築・設備)　２部
・Ａ３縮小版製本(建築・設備)　２部
※上記完成図書にあっては、監理者にあっても各製本を同部数提出すること。

⑬設備工事との取り合い
設備機器の位置、取合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。

⑭設計GL
※図示　⊙設計GL＝現状GL

⑮諸官庁手続
・工事施工及び建物の使用開始(含む仮使用)に必要な書類図面の作成、及びその関係官庁への手続き申請は、施工者の負担により遅滞なく行うこと。
・仮囲い設置の為の道路占用等の必要な関係官庁の手続き申請は、請負者の負担にて遅滞なく行うこと。
・中間・完成検査に要する手続き申請手数料は、本工事に含むこと。

2 仮設工事

①足場その他
内部足場　種別　※きゃたつ、足場板等　⊙枠組棚足場　[2.2.1]
外部足場　種別　※A種　・B種　・C種　・D種　[2.2.1] [表2.2.1]
防護シートによる養生　※行う　・行わない
材料、撤去材等の運搬　[2.2.1] [表2.2.2]
・A種　※B種　・C種　・D種　・E種

②養生　[2.3.1]
既存部分の養生　※ビニルシート等　・
既存家具等の養生　※ビニルシート等　・
固定家具等の移動　※行わない　・行う（図示）

3 仮設間仕切
仮設間仕切り等の種別　[2.3.2] [表2.3.1]

種　別	下　地	仕上材（厚さ　mm）	充てん材	塗　装
・A種	※軽量鉄骨	・合板（※9.0　・　　）		※無し
・B種	・木下地	※せっこうボード（※9.5　・　　）	厚さ　mm	・片面
※C種	単管下地	防炎シート		
仮設扉	※木製扉 ・鋼製扉	※合板張り程度　・ ※片面フラッシュ程度　・		※無し ・有り

④監督職員事務所　[2.4.1]
・既存建物内の一部を使用する　⊙構内に設置する　・設けない
⊙規模及び仕上げの程度は現場説明書による。

⑤工事用水
・既設を利用する際は、メーター取付の上、工事着手時と工事完了時に学校管理者とメーター数値の確認を行い、請負者の負担とする。

⑥工事用電力
・引込工事、使用料とも請負者の負担とする。

3 防水改修工事

1 アスファルト防水　[3.3.2.3] [表3.1.1] [表3.3.3～10]

	防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別
保護防水	・P1B		・B－1　※B－2
	・P1BⅠ　・T1BⅠ		・BⅠ－1　※BⅠ－2
	・P2AⅠ		・AⅠ－1　※AⅠ－2
	・P2A		・A－1　※A－2
露出防水	・M4C		・C－1　※C－2
	・M3D　・P0D		・D－1　※D－2
屋内防水	・P1E　・P2E	便所	・E－1　※E－2 （保護層は図示による）

アスファルトの種類　※3種　・4種　[3.2.2] [3.3.2]
保護コンクリートのコンクリート種類　※無筋コンクリート　[3.3.2]
P0D工法の二重ドレン　※設けない　・設ける　[3.2.5]
M3D、P0D工法の脱気装置　※設けない　・設ける　[3.3.3]
既存露出防水層表面の仕上げ塗装（M4C工法の場合）　・除去する　[3.2.6]
断熱工法の断熱材　厚さ（mm）　※25　・　[3.3.2]
ただし、特定フロンを含まないもの。

立上り部の保護　[3.3.2]
・れんがの種類　※見え隠れ部分は市販品のれんが又は、市販品のれんが形コンクリートブロックとする。
・乾式保護材の材料　※押出成形セメント板　厚さ15mm

2 改質アスファルトシート防水　[3.4.2.3] [表3.1.1] [表3.4.1～3]

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別	厚さ（mm）
・M4AS工法		・AS－1　・AS－2　・AS－3	
・M3AS工法 ・P0AS工法		・AS－4　・AS－5　・AS－6	
・M3ASⅠ工法 ・M4ASⅠ工法 ・P0ASⅠ工法		・ASⅠ－1　・ASⅠ－2	

脱気装置　※設けない　・設ける

3 合成高分子系ルーフィングシート防水　[3.5.2.3] [表3.1.1] [表3.5.1]

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別	仕上げ塗料等	使用分類
・P0S工法 ・S4S工法 ・S3S工法		・S－F1　・S－M1 ・S－F2　・S－M2	・カラー ・シルバー	※非歩行 ・軽歩行
・M4S工法		・S－M1　・S－M2		
・P0SⅠ工法 ・S3SⅠ工法 ・S4SⅠ工法 ・M4SⅠ工法		・SⅠ－F1　・SⅠ－F2 ・SⅠ－M1　・SⅠ－M2 ・SⅠ－M3		

脱気装置　・設ける　・設けない　[3.5.3]
目地処理　PCコンクリートの場合（　　　　）　[3.5.4]

4 塗膜防水　[3.6.3] [表3.1.1] [表3.6.1]

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別	仕上げ塗料塗り
・P0X工法		・X－1	・シルバー
・L4X工法		・X－2	・カラー

既存塗膜防水層表面の仕上げ塗装（L4X工法の場合）　・除去する　[3.2.6]
脱気装置　※設けない　・設ける　[3.6.3]

5 脱気装置　[3.3.3] [3.4.3] [3.5.3]

種　類	材　質	設置数量
・平面部脱気型	・ポリエチレン樹脂　・ABS樹脂 ・ステンレス　・鋳鉄	（　　　） ㎡ 当たり1箇所
・立上がり部脱気型	・合成ゴム　・塩化ビニル樹脂 ・ステンレス　・銅	（　　　） ㎡ 当たり1箇所

6 シーリング
シーリング改修工法の種類　[3.1.4] [表3.1.2]
・シーリング充てん工法　・シーリング再充てん工法
・拡幅シーリング再充てん工法　・ブリッジ工法
シーリング材の種類、施工箇所　[3.7.2] [表3.7.1]
※下表以外は、改修標仕表3.7.1を標準とする

施工箇所	シーリング材の種類（記号）
図示（ガラス廻り）	SR－1

7 とい
といの材種　[3.8.2] [表3.8.1]
※配管用鋼管　・硬質塩化ビニル管　・排水用リサイクル硬質塩化ビニル管（REP－VU）G
鋼管製といの防露　[3.8.3] [表3.8.5]
・次の箇所は行わない（　　　　）
ロックウール保温筒及びフェノールフォーム保温筒のホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外　・第三種
掃　除　口　※有り　・無し
縦どい受け金物の取付け　[3.8.3]
※図示　・標仕13.5.3（d）（2）による

8 アルミニウム製笠木　[3.9.2] [表3.9.1]

種　類	呼称肉厚(mm)	表面処理	固定間隔	備　考
・250形	1.6以上	※A－1又は B－1種 ・B－2種 （　　）	固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの	隅角部及び突当たり部等の役物は本体製造所の仕様による。
・300形	1.8以上			
・350形	2.0以上			
・100形				
・				

板材折曲げ形の取付工法　・図示　[3.9.3]

9 折板葺　(13.3.2.3) (表13.2.1)

形　式	※重ね形　・はぜ締め形　・かん合形
形状(mm)	山高（ 150 ）　山ピッチ（　　　）　板厚　※0.6　・0.8
材　料（規格等）	※カラーガルバリウム鋼板 ・
軒先面戸板	※有り　・無し
断　熱　材	※有り（厚さ：　0.4mm）　・無し
耐火性能	※30分耐火　・無し

4 外壁改修工事　共通事項

1 施工数量調査
調査範囲　※外壁改修範囲　・図示の範囲　[1.5.2]
調査内容
ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。
モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。
コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。
塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。
調査報告書の部数　※2部　・
外壁のクラック・浮き・タイル補修についての、増減積算については、出来高積算とする。

設計・監理　株式会社 K．設計（ケイ）　一級建築士事務所
□本　社：三木市志染町広野1－38(Kビル)
□東京事務所：東京都港区西麻布1－14－15(西麻布ゆうきビル 201号室)

CHECK		DRAWING	工事名	DATE	PROJECT No.	SHEET No.
橋田	藤原	田中	中町北小学校　屋内運動場　天井等耐震化工事	H 27・2	150131	A － 02
			図面名：改修工事特記仕様書（１）	SCALE	管理建築士　橋田　典博（一級建築士登録：第83571号）	

5 建具改修工事

1 改修工法の適用

[5.1.3]

建具の種類		かぶせ工法	撤去工法	備　考
・アルミニウム製建具		・	・	
・鋼製建具	・外部	・	・	
	・内部	・	・	
・鋼製軽量建具		・	・	
・ステンレス製建具		・	・	

2 見本の製作等

・特殊な建具の仮組（建具符号：　　　　　　）　[5.1.5]

3 アルミニウム製建具

外部に面する建具　[5.2.2] [表5.2.1]

種　別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み（mm）	施工箇所
・A種	S－4	※A－3		※70	※図示
・B種	S－5	・	※W－4	・	・
・C種	S－6	A－4	W－5	100	

表面処理　[5.2.4] [表5.2.2]
※B－1　・B－2（※ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー）

屋内建具
表面処理　※C－1種又はB－1種　[5.2.4] [表5.2.2]
・C－2種又はB－2種（※ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー）

4 網戸

防虫網　[5.2.3]
網の種別　※ガラス繊維入り合成樹脂製　・合成樹脂製　・ステンレス製（SUS316）
形　式　※外部可動式　・固定式

5 鋼製建具

簡易気密型ドアセットの適用は建具表による　[5.3.2] [表5.3.1]
耐風圧性能の適用は建具表による
特定防火設備の戸　・適用する　[5.3.4]

6 鋼製軽量建具

簡易気密型ドアセットの適用は建具表による　[5.4.2]

7 ステンレス製建具

簡易気密型ドアセットの適用は特記による　[5.5.2]
耐風圧性能の適用は建具表による
表面仕上げ　※HL仕上げ　・鏡面仕上げ　・　[5.5.4]
曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ（補強有り）　[5.5.5]
特定防火設備の戸　・適用する　[表5.5.1]

8 自動ドア開閉装置

※製造所標準製作規定寸法許容差による　[5.7.2.3] [表5.7.1～3]

開閉方法	センサの種類	
※スライディングドア	・マットスイッチ	・電子マットスイッチ
・スイングドア	※光線スイッチ	・音波スイッチ
	・熱線スイッチ	・光電スイッチ

・凍結防止措置（適用箇所は建具表による）

9 自閉式上吊り引戸装置

品質規格　※ 改修標仕5.8.3による　[5.8.3] [表5.8.1]
・ 製造所標準仕様による

10 木製建具

かまち戸の樹種　かまち（　　　　）　鏡板（　　　　）　(16.6.2)
ふすまの上張り　※新鳥の子又はビニル紙程度（押入等の裏面は除く）　(表16.6.3)
・鳥の子
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量　(16.6.2)
※規制対象外　・第三種

11 建具用金物

マスターキー　※製作する　・製作しない　[5.6.4]
建具用金物　[5.6.2.3] [表5.6.1.2]
錠類はシリンダー箱錠（レバーハンドル）とする
なお、錠前類は建具製作所の指定するものとし、監督職員の承諾を受ける
吊金物
・丁番（内部建具については、軸を鉄芯としてもよい）
・ピボットヒンジ

12 ガラス

㊟建具表による　[5.12.2]
・ガラスブロック　[5.12.5]

寸法（mm）	色　調		パターン	防火認定
	※クリア	・熱線反射		※無し
	・乳白	・カラー（　　）		・有り

13 ガラス留め材及び溝

ガラス留め材　[5.12.2] [表5.12.1]

建具の種類	材　種
アルミニウム製	※シーリング材　・ガスケット（FIX部はシーリング材）
鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材
ステンレス製	※シーリング材

防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能認定品とする。
板ガラスをはめ込む溝の大きさ　[5.12.3]
改修標仕5.12.3以外のアルミニウム製建具及び板ガラスの場合は（社）日本建築学会JASS17 ガラス工事 「3.1納まり寸法標準」によるほか、性能値が確認できる資料を監督職員に提出する。

⑭ ガラス用フィルム

名　称	種　類	張り面	性能値
※ガラス飛散防止フィルム	第2種	㊟内張り　・外張り	飛散防止率　D1
・			

品質JIS A 5759による

15 重量シャッター

[5.9.2] [表5.9.1]

シャッターの種類	
・一般重量シャッター	耐風圧性能（　　）N/m²
・外壁用防火シャッター	耐風圧性能（　　）N/m²
・屋内用防火シャッター	
・屋内用防煙シャッター	

開閉機能
※上部電動式（手動併用）　・上部手動式
危害防止機構　※障害物感知装置（自動閉鎖型）　[5.9.2]
・シャッターの二段降下方式
一般重量シャッターのシャッターケース　※設ける　・設けない　[5.9.2]

16 軽量シャッター

開閉形式　[5.10.2] [表5.10.1]
※手動式　・上部電動式（手動併用）
スラット　材質　※塗装溶融亜鉛めっき鋼板　[5.10.3]
形状　※インターロッキング形　・オーバーラッピング形　[5.10.4]
ガイドレール等　[表5.10.2]
※鋼板製　・ステンレス製SUS304（厚さ1.5mm）
耐風圧性能（　　）N/m²

17 オーバーヘッドドア

[5.11.2～4] [表5.11.1.2]

セクション材	開閉方式	収納形式	ガイドレールの材質
※スチールタイプ	※バランス式	・スタンダード形	・溶融亜鉛めっき鋼板
・アルミニウムタイプ	・チェーン式	・ローヘッド形	※ステンレス鋼板
・ファイバーグラスタイプ	・電動式	・ハイリフト形	（SUS304）
		・バーチカル形	

耐風圧性能（　　）N/m²

18 かぎ箱

市販品
形　式　・30組用　・60組用　・120組用　・

6 内装改修工事

① 改修範囲

既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲　[6.1.3]
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
⊙図示の範囲
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
⊙図示の範囲
天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※既存のまま
⊙図示の範囲

2 既存床の撤去並びに下地補修

ビニル床シート等の除去　※仕上げ材のみ（接着剤とも）　[6.2.2]
・下地モルタルとも（※図示の範囲　・除去範囲全て）
合成樹脂塗り床材の除去工法　・機械的除去工法　・目荒工法
改修後の床の清掃範囲　※改修箇所の室内　・

③ 既存壁の撤去並びに下地補修

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修　[6.3.2] [4.4.9]
㊟図示
・モルタル塗り（塗り厚25mmを超える場合の補強　※行う　・行わない）

④ 木下地等

木材の品質　[6.5.2] [表6.5.2.3]
㊟改修標準仕様書6.5.2による　・市販品
代用樹種　㊟改修標仕表6.5.4による　[6.5.2] [表6.5.4]
・代用樹種を適用しない箇所（　　　　）
保存処理木材を適用する箇所（ コンクリート面 ）

5 集成材等 G

[6.5.2]

品　名	規格・品質	芯材の種類	化粧単板の樹種
※集成材	※一般材	・たも　・なら　・しおじ	
・構造用集成材	※1級　・2級	・	
・造作用集成材	※1等　・2等	・	
・化粧ばり造作用集成材	※1等　・2等	・	・

ホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・第三種

⑥ 接着剤

接着材に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。　[6.5.2]
㊟木工事に使用する接着剤
ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤（以下、「ユリア樹脂等」という。）を用いた接着剤のホルムアルデヒドの放散量
㊟規制対象外　・第三種

[6.8.2] [6.14.2]
※壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート、幅木に使用する接着剤、
壁紙施工用でん粉系接着剤、ユリア樹脂等を用いた接着剤のホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外　・第三種

7 防腐、防蟻処理

行う箇所（　　　　　　）
防腐処理　※行う（※図示　・　）
防蟻処理　・行う（※図示　・　）
防腐、防蟻処理の種類、品質
表面処理用木材保存剤（防腐・防蟻剤）は監督職員の承諾するものとする。

8 床板張り

フローリング及び縁甲板張り床　[表6.5.11]

下張り用床板	※無し		
	・有り	※合板張り	ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外　・第三種
		・板張り	
床板	※フローリング （共仕19.5.2による）		ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外　・第三種
	・縁甲板		※ひのき　・

9 軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類　[6.6.2] [表6.6.1]
屋外（・19型　※25型）　屋内（※19型　・25型）
既存の埋込インサート　・使用する　・使用しない　[6.6.3.4]
あと施工アンカーの引抜き試験　・行う　・行わない　[6.6.4]

10 軽量鉄骨壁下地

スタッドの高さが5mを超える場合　※図示　[6.7.3] [表6.7.1]

11 ビニル床シート張り

[6.8.2]

種　類	JISの記号	色　柄	厚さ（mm）
※発泡層のないもの	※NC　・	※無地　・プレーン柄	※2.0
・発泡層のあるもの		※柄物　・無地	
・			
・			

工法　※熱溶接工法　・突付け（施工箇所：　　　）　[6.8.3]

12 ビニル床タイル張り

[6.8.2]

種　類	JISの記号	厚さ（mm）	備　考
※コンポジションビニル床タイル（半硬質）	CT	※2	
・コンポジションビニル床タイル（軟質）	CTS	・	
・ホモジニアスビニル床タイル	HT	・2	

13 帯電防止床タイル張り

[6.8.2]

種　類	厚さ（mm）	性　能
・コンポジションビニル床タイル	※2　・	体積抵抗値（JIS K 6911による）
・ホモジニアスビニル床タイル	※4.0又は4.5	$1.0X10^{9}\Omega$以下、または、
・	・	漏えい抵抗値（JIS A 1454による）
・	・	$1.0X10^{10}\Omega$未満

14 視覚障害者用床タイル（誘導用及び注意喚起用床材）

ブロックパターンはJIS T 9251による　[6.8.2]
色彩は黄色を原則とする
屋　内　※塩化ビニル製　・磁器又はせっ器質タイル（※300　・　）
・レジンコンクリート製
屋　外　※レジンコンクリート製　・磁器又はせっ器質タイル（※300　・　）

15 ビニル幅木

高さ（mm）　・60　・75　・100　[6.8.2]

16 合成樹脂塗り床

[6.10.3] [表6.10.3～7]

種　別	仕上げの種類
・弾性ウレタン塗り床材	※平滑仕上げ　・防滑仕上げ　・つや消し仕上げ
・エポキシ樹脂塗り床材	※薄膜流し展べ仕上げ ・厚膜流し展べ仕上げ（※平滑　・防滑） ・樹脂モルタル仕上げ（※平滑　・防滑） ・防滑仕上げ

ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量　[6.10.2]
㊟規制対象外　・第三種

17 フローリング張り

[6.11.2～7] [表6.11.1～4]

種　別	材　種	工　法	仕上げ塗装等	備考
※単層フローリング	※なら ・ひのき	※釘どめ工法（C種）	※塗装品 ・無塗装品	
	・	・	・	
	・	・	・	

ホルムアルデヒドの放散量　㊟規制対象外　・第三種

18 畳敷き

[6.12.2.3] [表6.12.1]

下地の種類	畳の種別
改修標仕　表6.5.9による床組	※B種　・
ポリスチレンフォーム床下地	※C種　・

畳表及び畳床はVOC含有量が少ないものとする

19 ポリスチレンフォーム床下地材

畳下地　厚さ（mm）　※40　・65　・80
フローリング類　厚さ（mm）　※80　・95

20 カーペット敷き

・織じゅうたん　[6.9.2.3] [表6.9.1]

種　別	パイル形状	色柄　等	備考
・A種	・カットパイル	※無地	
・B種	・ループパイル	・柄物（標準品）	
・C種	・カット、ループパイル併用	・	

耐電性　※人体帯電圧3kV以下　・

・タフテッドカーペット　[6.9.2.3] [表6.9.2]

パイル形状	パイル長（mm）	工　法	備考
・カットパイル	※5～7　・	※全面接着工法	
・ループパイル	※4～6　・	・グリッパー工法	
・レベルループパイル	※4　・		
・カット、ループ併用	・		

耐電性　※人体帯電圧3kV以下　・

・タイルカーペット　[6.9.2.3] [表6.9.2]

パイル形状	種　類	種　類	総厚さ（mm）	備考
※ループパイル	※第一種 ・第二種	※500×500 ・	※6.5 ・	
・カットパイル				
・カット、ループ併用				

耐電性　・人体帯電圧3kV以下（フリーアクセスフロア敷設範囲）

21 せっこうボードその他のボード張り

[6.13.2] [表6.13.1]

種　類	JISの記号	厚さ（mm）、規格等
・硬質木毛セメント板	HW G	・15　・20　・25　・
・普通木毛セメント板	NW G	・15　・20　・25　・
・けい酸カルシウム板	0.8FK	タイプ2（無石綿）（⊙6　・8　・　）
・ロックウール化粧吸音板	DR	※フラットタイプ （※9（不燃）　・12　・　） ・凹凸タイプ （※12（不燃）　・15　・19　・　）
・ロックウール化粧吸音板（軒天井用）	DR DR(凹凸) DR(軒天) DR(軒天凹凸)	※フラットタイプ 9（（個）不燃） ・凹凸タイプ（※12　・15）（（個）不燃）
・有孔せっこうボード	GB－P	※12.5（不燃）　・9.5（準不燃）
・不燃積層せっこうボード	GB－NC	9.5（不燃）　化粧無（下地張り用） 化粧有（トラバーチン模様）
・シージングせっこうボード	GB－S	12.5（不燃）
・強化せっこうボード	GB－F	12.5（不燃）　15.0（不燃）
・せっこうラスボード	GB－L	9.5
・化粧せっこうボード	GB－D	9.5（準不燃） 吉野石膏：ジプトーン　同等
・難燃合板	G	・生地、透明塗料塗り（ラワン合板程度） ・不透明塗料塗り（しな合板程度）
・メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903による　厚さ1.2
・ミディアムデンシティファイバーボード	MDF G	・3　・7　・9　・12　・
・単板張りパーティクルボード	G	・無研磨板　・研磨板 ・10　・12　・15　・18　・
・ハードボード（素地）	HB G	・無研磨板（・スタンダード　・テンパード） ・研磨板　（・スタンダード　・テンパード）
・インシュレーションボード	IB G	A級（・天井仕上　・内装仕上　・　） ・9　・12　・15　・18　・

合板類、繊維板、及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量
㊟規制対象外　・第三種
軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材
※適用する　⊙適用しない

22 吸音材

[表6.13.1]

種　類	JISの記号	厚さ（mm）
・ロックウール吸音ボード1号	RW－B	※25　・
※グラスウール吸音ボード32K	GW－B	※25　・

23 壁紙張り

[6.14.2]

施工箇所	紙	繊維（織物）	プラ（ビニル）	その他（化学繊維）	無機質	防火性能	備考
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	

（壁紙の種類：紙／繊維（織物）／プラ（ビニル）／その他（化学繊維）／無機質）

素地ごしらえ　[6.14.3] [表7.2.4] [表7.2.7]
モルタル、プラスター面　※RB種　・RA種（施工箇所：　　　）
せっこうボード面　※RB種　・RA種（施工箇所：　　　）
壁紙のホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・第三種　[6.14.2]

24 モルタル塗り材料

吸水調整材　[6.15.3]

全固形分（%）	吸水量（g）	接着強度（N/mm²）	界面破断率（%）
表示値±1.0	30分で1g以下	0.98以上	50以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
防水剤（防水モルタル塗りの混入剤）
防水剤の種類　建築用のモルタルに用いるセメント防水剤

混合割合	凝　結　時　間	曲げ及び圧縮強度比	吸水比	透水比
セメント重量の5%以下	JIS R 5201の試験において 始発　1時間以上 終結　10時間以内	70%以上	95%以下	80%以下

収縮性、膨張性のひび割れおよびそりがないこと。
既製目地材　※適用しない　・適用する

25 陶磁器質タイル張り

タイルの種類　[6.16.3]

施工箇所	形状寸法（mm）	きじ 磁器	きじ せっ器	きじ 陶器	うわぐすり 施ゆう	うわぐすり 無ゆう	役物 あり	役物 なし	色 標準	色 特注	再生材の適用 G	備考
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

役物：標準的な曲がりの役物は一体成形とする
タイルの見本焼き　※行わない　・行う（※外装タイル　・　）
内装タイル　※壁タイル接着剤張り　・積上げ張り

26 断熱材

(19.9.2.3)

種　類		施工箇所	厚さ（mm）	品質等
・押出法ポリスチレンフォーム保温板	※2種b	※一般部 ・	※25 ・	特定フロンを使用しないもの
	※3種b（スキン層付）	・接地部分	※25	
・現場吹付断熱材ポリウレタン発泡樹脂		・一般部 ・屋根裏面	※15	・ノンフロンを使用する 難燃性※3級　・2級
・現場吹付不燃材繊維混入軽量モルタル		・一般部 ・屋根裏面	※15	エスケー化研　株式会社ダンセラボン同等品

ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒドの放散量　㊟規制対象外　・第三種

27 浴室天井材

市販品

材　質	表面仕上げ	性　能	幅（mm）	備　考
※アルミニウム製	※焼付け塗装品	準不燃品	※200	回り縁は樋付きとし、製造所の標準品とする。
	・アルマイト処理品		・100	
・硬質塩ビ製	※塗装品 ・木目調		※300 ・100	

28 フリーアクセスフロア

(20.2.2)

施工箇所	構　法	仕上り高（mm）	適用地震時水平力	耐荷重性能	表面仕上げ材	備　考
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	

耐震性能5,000Nについては、平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したもの又は同等品とする。
表面仕上げ材の品質・規格等は、各内装工事による
スロープ及びボーダー　※製造所の標準仕様　・図示
コンセント等の取付け対応　※製造所の標準仕様（コンセント本体は別途設備工事）
コンセントの箇所数は図示
配線用取り出しパネル　配線取り出し開口：パネル1枚につき40mm×80mm程度の開口1ヶ所以上
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合
※20～30パーセント　・
空調用吹き出しパネル　※無し
・有り（※固定式　・可変式　：施工箇所は図示）

29 可動間仕切

(20.2.3)

構造形式	パネル部の総厚さ（mm）	表面材種 厚さ（mm）	表面仕上げ	遮音性能	防火性能
・スタッド式 ・スタッドパネル式 ・パネル式	・	※鋼板 （※0.6　・0.8） ・	※メラミン樹脂又はアクリル樹脂焼付け ・	・あり （　　） ・なし	・あり ・なし

30 移動間仕切

(20.2.4)

遮音性能	厚さ（mm）	表面材	表面仕上げ	操作方法	
・一般タイプ		※鋼板 ・	・焼付け塗装 ・壁紙張り	・手動式 ・部分電動式	・電動式
・遮音タイプ（36db以上）		※鋼板 ・	・焼付け塗装 ・壁紙張り	・手動式 ・部分電動式	・電動式

表面仕上げの壁紙張りの品質は23壁紙張りによる
遮音性能はJIS A 6512の遮音試験に準拠する

31 トイレブース

表面仕上げ材　※メラミン樹脂系化粧板（標準色　アルミ製コーナーエッジ付き）　(20.2.5)
・ポリエステル樹脂系化粧板
足形状　※幅木型　・足金物型

6 内装改修工事

32 階段滑止め

材　種　ステンレスSUS304　(20.2.6)
形　状　ビニルタイヤ入り（ゴムのみ新設）
両端フラットエンド　※有り（・ステンレス製　※ビニル製）　・無し
幅（mm）　約50
取付け工法　※接着工法　・埋込み工法

33 階段手すり

種別	施工箇所
※集成材クリアラッカー仕上げ（市販品　径　約45mm）	
・ビニル製ハンドレール（幅　約50mm）	

34 黒板及びホワイトボード　(20.2.8)

種類		寸法（mm）	色彩	備考
・黒板	※焼付け		※緑　・黒	※平面　・曲面　・スクリーン付引分
			※緑　・黒	
・ホワイトボード	※ほうろう	図示	※白	※平面　・曲面　・スクリーン付引分

35 表示

衝突防止表示　※図示（市販品　※ステンレス製　径約30mm　・　）　(20.2.10)
（・両面　・片面）
・無し
表示標識　案内用図記号についてはJIS Z 8210による
誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。
製造所　監督職員の承諾する製造所

36 ブラインド

・既存再使用する（養生方法：　）　[2.3.1] [5.1.6]
・新設する　(20.2.12)

形式	種類	スラットの材質	スラットの幅（mm）
※横型	※ギヤ式　・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製 ・	※25
・縦型	・1本操作コード ・2本操作コード	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100

37 ロールスクリーン

防炎性能　※有り
製造所　性能の確認できる資料を監督職員に提出する　(20.2.13)

施工箇所	装置 電動	装置 手引	性能（防炎性能）	備考
	・	・		
	・	・		
	・	・		

㊳ カーテン

⊙既存再使用する（養生方法：　）　[2.3.1] [5.1.6]
・新設する　(20.2.14)

施工箇所	形式 片引	形式 引分	装置 電動	装置 ひも引	装置 手引	ひだの種類	性能	備考
	・	・	・	・	・			
	・	・	・	・	・			
	・	・	・	・	・			
	・	・	・	・	・			

㊴ カーテンレール

⊙既存再使用する　[5.1.6]
・新設する　(20.2.14)
材　種　※アルミニウム製　・ステンレス製
形　式　・片引き　・引分け（※暗幕用は300mm以上の召合せの重掛けとする）

㊵ ブラインドボックス及びカーテンボックス

⊙既存再使用する　[5.1.6]
・新設する
・市販品（アルミニウム製　押出し型材）
溝幅×深さ（mm）・90×150　※120×80　・120×150　・150×80　・
色彩　※B−1　・B−2（※ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー）
・図示

41 天井点検口　材　質　アルミニウム製（※額縁タイプ　・目地タイプ）

42 床点検口　材　質　アルミニウム製（受け枠　※アルミ製　・ステンレス製）

43 鋼製書架及び物品棚

種類	規格等	耐荷重による種類
・鋼製書架	JIS S 1039の規格による	水平荷重?又は水平荷重?
・鋼製物品棚	JIS S 1040の規格による	※1種　・2種　・3種

44 グランドピアノ

市販品　耐震用ゴム
材　質　・塩化ビニル製（コイル状　ステンレス製受枠）　・ビニル製（ステンレス製受枠）
・硬質アルミニウム製（受枠とも）　・ステンレス製（受枠とも）

45 流し台ユニット

種類	寸法(L=　mm)	適用内容	規格・品質等
・流し台	※1200　・1500　・1800	トラップ付き	※優良住宅部品
・コンロ台	※600　・700　・	バックガード　※有り	（セクショナルキッチンⅠ型）
・つり戸棚	※1200　・900　・600		・　ミニキッチン　L=1,500
・水切り棚	※1200　・900	ステンレス製　※1段式	※市販品

⊙既設利用

46 屋内掲示板

枠の材質　※アルミニウム製
表面の材質　※塩ビ発泡シート張り　・

47 洗面カウンター

材　種　・メラミン樹脂化粧板張り（心材：集成材）　・人工大理石
奥行き（mm）　・約450　・約600

48 収納家具

材質　(12.2.2) (19.7.2)
形状・寸法　※図示
合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外　・第三種

49 防煙垂れ壁

・固定式

材質	厚さ（mm）	高さ（mm）	備考
※網入り磨板ガラス ・線入り磨板ガラス	※6.8 ・	※500 ・	アルミ製枠付き

・可動式

材質	厚さ（mm）	高さ（mm）	備考
・垂直降下式（巻取り型）	※不燃布（不燃認定品）	※50 ・800 ・	ガイドレール ※固定式（壁埋込型） ・可動式（天井収納型）
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800 ・	表面仕上げ ※天井材張り ・

50 膜天井　防炎膜仕様　平岡織染株式会社　V2000　同等品

7 塗装改修工事

① 材料

屋内の壁及び天井仕上げ材は、防火材料とする。
建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量
㊟規制対象外　・第三種

② 下地調整　[7.2.2～7] [表7.2.1～7]

下地面の種類	下地調整の種別	備考
木部	・RA種　㊟RB種	
鉄鋼面	・RA種　㊟RB種	
亜鉛めっき面	・RA種　※RB種	
亜鉛めっき面（鋼製建具）	※RB種　・RC種	
モルタル、プラスター面	・RA種　※RB種	
コンクリート、ALCパネル面	・RA種　※RB種	（2−UE）、（2−ASE）及び（2−FUE）は除く
せっこうボード、その他ボード面	・RA種　㊟RB種	

既存モルタル下地面等のひび割れ部の補修　[表7.2.4～6]
㊟行わない　・行う（補修範囲及び補修方法は図示）
・合成樹脂溶剤系シーラー

③ 合成樹脂調合ペイント塗り

新規鉄面の塗りの種別　・A種　※B種　[7.4.4] [表7.4.2]
塗替え鉄面の塗りの種別　・A種　㊟B種

4 フタル酸樹脂エナメル塗り

新規木部の塗りの種別　・A種　※B種　[7.5.2] [表7.5.1]
新規鉄面、亜鉛めっき面の塗りの種別　・A種　※B種　[7.5.3] [表7.5.2]

5 2液形ポリウレタンエナメル塗り　[7.8.2～4] [表7.8.1～3]

下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備考
鉄面	※A種　・B種	・A種　※B種	
亜鉛めっき面	※A種　・B種	・A種　※B種	
コンクリート及び押出成形セメント板面	※A種　・B種	・A種　※B種	

⑥ クリアラッカー塗り

塗替の塗りの種別　・A種　※B種　(18.5.1,2)

7 常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗り　[7.10.2～4] [表7.10.1～3]

下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備考
鉄面	※A種　・B種	・A種　※B種	
亜鉛めっき面	※A種　・B種	・A種　※B種	
コンクリート及び押出成形セメント板面	※A種　・B種	・A種　※B種	

8 つや有合成樹脂エマルションペイント塗り

新規の塗りの種別　・A種　※B種　[7.11.2] [表7.11.1]

⑨ 合成樹脂エマルションペイント塗り

新規の塗りの種別　・A種　※B種　[7.12.2] [表7.12.1]

10 反応硬化形低VOC水性塗料吹付

新規の塗りの種別　・A種　※B種　[7.14.2] [表7.14.1]
塗替えの場合

既存塗膜	下地調整	種別
合成樹脂エマルション模様塗り	※RB種	※A種
	・RC種	※C−3種
平滑な塗料塗り	※RB種	・A種　・B種
	・RC種	・C−1種　・C−2種

8 工事現場管理

① 施工条件

⊙ 近隣建物（住宅・保育所）を考慮した施工時間・休日を設定し施工計画書に記載すること。　[1.3.5]

② 施工条件安全確保

⊙ 工事個所周辺の既設配管（電気・ガス・給水・排水等）経路を調査し、支障をきたさないよう施工を行うこと。万が一の事故等に備え緊急連絡先等の整備を行うこと。　[1.3.6]
⊙ 火気の使用や火気を用いた作業の際、取り扱いに十分注意を払うこと。また、適切な消火設備や防炎シートを設けること。　[1.3.6]
⊙ 適所に監視員・誘導員を配し、解体工事施工区域へ関係者以外の立ち入りを禁止し、落下物や破片の飛散による危害を与えない措置を講じること。　[1.3.6]

③ 交通安全管理

⊙ 建設副産物の搬送計画及び通行経路の選定、その他工事関係車両の通行に関する事項について、関係機関と十分打ち合わせ・協議を行うこと。　[1.3.7]

④ 災害時の安全確保

⊙ 「解体工事共通仕様書（H24）」[1.3.8]による。　[1.3.8]

⑤ 施工中の環境保全

⊙ 「解体工事共通仕様書（H24）」[1.3.9]による。　[1.3.9]

⑥ 発生材の処理

⊙ 「PCB含有物」・「アスベスト含有品」・「フロン回収」については、監督職員と協議の上適切に処分すること。処分に係る費用は請負金額に含むものとする。
⊙ その他の発生材の処理は「解体工事共通仕様書（H24）」[1.3.10]による。　[1.3.10]

⑦ 近隣との 折衝

⊙ 「解体工事共通仕様書（H24）」[1.3.11]による。　[1.3.11]

設計・監理　株式会社 K（ケイ）.設計　一級建築士事務所　優空間
□本　社：三木市志染町広野1−38（Kビル）
□東京事務所：東京都港区西麻布1−14−15（西麻布ゆうきビル 201号室）

CHECK　橘田　藤原
DRAWING　田中
工事名　中町北小学校　屋内運動場　天井等耐震化工事
図面名　改修工事特記仕様書（3）
DATE　H 27・2
SCALE
PROJECT No.　150131
SHEET No.　A - 04
管理建築士　橘田 典博（一級建築士登録：第83571号）

N
▽敷地境界線
屋外渡り廊下
花壇
屋内運動場
鉄筋コンクリート造２階建
屋外渡り廊下
ポーチ
Ａｓ舗装
鉄骨造平家建
受水槽
ポンプ室
花壇
屋外手洗足洗場
花壇
Ａｓ舗装
キャスターゲート L=6.0
仮囲い（ガードフェンス H=1.8 シート貼）
← 通路 →
通路
道 路
△敷地境界線
水 路
水 路
鉄筋コンクリート造２階建
▽敷地境界線
16,500
8,000
2,400
26,000
26,000
12,500
6,000
2,000
6,650
23,000
22,880
5,600
5,600
5,600
5,600
700
3,700
6,500
6,500
6,500
6,500
3,840
34,240
G
F
E
D
C
B
A
1
2
3
4
5
配置図（仮設計画） 1:200
注1) 常駐ガードマンを配し、西門から工事車両及び材料搬出入を行う。
また、工事車両の駐車は仮囲い内を使用すること。
注2) 仮囲い部分には、建設業者登録票を配置すること。
注3) 上記仮設計画は基本計画であり、施主・学校・請負業者と協議の上最終決定とする。
凡 例
今回対象建物
敷地境界線
仮囲い（ガードフェンス H=1.8 養生シート貼）
キャスターゲート L=6.0
仮設事務所（工事用）平屋：20.0㎡程度
仮設便所（大便 1・小便 1・手洗 1）
交通誘導員
工事車両、資材搬入路（工事後現状復旧のこと）
優空間
設計・監理
株式会社 Ｋ．設計
一級建築士事務所
□本 社：三木市志染町広野１−38（Kビル）
□東京事務所：東京都港区西麻布１−14−15
（西麻布ゆうきビル 201号室）
CHECK
橘田
藤原
DRAWING
田中
工事名
中町北小学校 屋内運動場 天井等耐震化工事
図面名
配置図（仮設計画）
DATE
H 27・2
SCALE
A1:1:200
PROJECT No.
150131
SHEET No.
A - 05
管理建築士
橘田 典博
（一級建築士登録：第83571号）

ステージ
控室（2）
放送室
控室（1）
UP
花壇
屋内運動場
手足洗場
手洗い
多目的便所
前室
男子便所
女子便所
手摺
玄関
スロープ
器具庫
ポーチ
屋外渡り廊下
33,400
22,400
5,600
6,500
3,700
1階平面図 <改修前> 1:100
吹抜
防球ネット（養生）
バスケットゴール（壁面折畳式）
ｷﾞｬﾗﾘｰ
女子更衣室
男子更衣室
卓球場
2階平面図 <改修前> 1:100
展開図ガイド
A
B
C
D
● 工事に際し支障のある掲示物（カーテン、防球ネット等）は施工者において養生を行うこと。
又、大型の額等は落下防止補強を行うこと。
● 固定物以外の物品は学校において移設等を行い、工事に支障のないようにしてもらう等工事範囲外とする。
● スピーカー、その他設備機器は電気設備工事で落下防止補強を行うこと。
— 工事範囲外
※＜ ＞の特記なき仕上げは現況のままとする。
設計・監理
株式会社 K．設計
一級建築士事務所
□本 社：三木市志染町広野1－38（Kビル）
□東京事務所：東京都港区西麻布1－14－15（西麻布ゆうきビル 201号室）
CHECK
橘田
藤原
DRAWING
田中
工事名
中町北小学校 屋内運動場 天井等耐震化工事
図面名
平面図 ＜改修前＞
DATE
H 27・2
SCALE
A1:1:100
PROJECT No.
150131
SHEET No.
A - 06
管理建築士
（一級建築士登録：第83571号）
橘田 典博

● 工事に際し支障のある掲示物(カーテン、防球ネット等)は施工者において養生を行うこと。
又、大型の額等は落下防止補強を行うこと。

● 固定物以外の物品は学校において移設等を行い、工事に支障のないようにしてもらう等工事範囲外とする。

● スピーカー、その他設備機器は電気設備工事で落下防止補強を行うこと。

設計・監理 株式会社 K.設計（ケイ） 一級建築士事務所
□本　社:三木市志染町広野1－38(Kビル)
□東京事務所:東京都港区西麻布1－14－15（西麻布ゆうきビル 201号室）

CHECK		DRAWING	工事名	中町北小学校　屋内運動場　天井等耐震化工事	DATE H 27・2	PROJECT No. 150131	SHEET No. A － 07
橘田	藤原	田中	図面名	平面図　＜改修後＞	SCALE A1:1:100	管理建築士（一級建築士登録：第83571号）	橘田　典博

▽最高高さ
▽水上梁天
△水下梁天
▽2FL
▽1FL
▽GL
450
200
4,500
8,950
3,200
800
900
1,200
7,150
3,950
2,550
ｷﾞｬﾗﾘｰ
屋内運動場
ブドウ棚
ステージ
イス収納庫
卓球場
玄関
ポーチ
940
22,400
700
33,400
740
1
5
G
A
断面図１　〈改修前〉　1:100
断面図２　〈改修前〉　1:100
断面図１　〈改修後〉　1:100
断面図２　〈改修後〉　1:100
優空間
設計・監理
株式会社　ケイ　K　.設　計
一級建築士事務所
□本　　社:三木市志染町広野1−38(Kビル)
□東京事務所:東京都港区西麻布1−14−15
(西麻布ゆうきビル 201号室)
CHECK
橋田
藤原
DRAWING
田中
工事名
中町北小学校　屋内運動場　天井等耐震化工事
図面名
断面図　＜改修前・後＞
DATE
H 27・2
SCALE
A1:1:100
PROJECT No.
150131
SHEET No.
A - 08
管理建築士
橋田　典博
(一級建築士登録：第83571号)

鋼製折板屋根（山高さH150）ペフ裏貼
鉄骨大梁：H450×200×9×14 SOP塗
▽水上梁天
△水下梁天
天井吊材〈撤去〉
廻縁〈撤去〉
グラスウール24Kg 厚100敷込み〈撤去〉
壁仕上：天然木タモ突板張りt=12
見切縁 CL塗
天井：石膏ボードt=9.5捨貼〈撤去〉
ロックウール吸音板t=12（LGS下地）〈撤去〉
木製カーテンBOX
ギャラリー
バスケットゴール
（壁面折畳式）
屋内運動場
▽２ＦＬ
ＧＬまで8,500
１ＦＬまで3,200
940
２通りまで5,600
C断面
A断面
B断面
断面詳細図Ａ 〈改修前〉 1:30
※〈 〉の特記なき仕上げは現況のままとする。
鋼製折板屋根（山高さH150）ペフ裏貼
鉄骨大梁：H450×200×9×14 下地調整の上SOP２回塗〈新設〉
壁仕上：既設天然木タモ突板張り サンダー掛、下地調整の上CL塗〈新設〉
既設見切縁 下地調整の上CL塗〈新設〉
木製カーテンBOX
落下防止チェーン〈新設〉
（２箇所）
バスケットゴール〈保守点検、落下防止補強〉
（壁面折畳式）
a部
ギャラリー
屋内運動場
ａ部取付詳細 1：15
220
150
リングφ9
65
接着系あと施工アンカー M12
プレート6t
● バスケットゴール保守点検について
・本体の動作確認を行う。
・可動部の注油を行う。
・ボルトナット締付調整を行う。
断面詳細図Ａ 〈改修後〉 1:30
● バスケットゴール補強について | 部 位 | 方 式 | 主 材 | 手 法
壁面折畳式 | 壁面取付部 | 落下防止チェーン | チェーン | あと施工アンカーにチェーンを取付け、本体と接続。
※補強は本体の点検を行った後に実施すること。
※バスケットゴール補強にあたっては製造メーカー(セノー株式会社)に問合わせの上、
施工方法の確認、指示を受けて実施すること。
※〈 〉の特記なき仕上げは現況のままとする。
設計・監理
株式会社 Ｋ．設 計
一級建築士事務所
□本 社：三木市志染町広野１－38（Kビル）
□東京事務所：東京都港区西麻布１－14－15
（西麻布ゆうきビル 201号室）
CHECK 橘田 藤原
DRAWING 田中
工事名 中町北小学校 屋内運動場 天井等耐震化工事
図面名 矩計詳細図１ ＜改修前・後＞
DATE H 27・2
SCALE A1:1:30
PROJECT No. 150131
SHEET No. A - 09
管理建築士 橘田 典博
（一級建築士登録：第83571号）

鉄骨小梁：H200×100×5.5×8　SOP塗
鉄骨小梁：H250×125×6×9　SOP塗
鉄骨小梁：H194×150×6×9　SOP塗
鋼製折板屋根（山高さH150）ベフ裏貼
鉄骨小梁：H500×200×10×16　SOP塗
鉄骨小梁：H250×125×6×9　SOP塗
鋼製折板屋根（山高さH150）ベフ裏貼
▽水上梁天
△水下梁天
天井吊材〈撤去〉
グラスウール24Kg　厚100敷込み〈撤去〉
天井：石膏ボードt=9.5捨貼〈撤去〉
ロックウール吸音板t=12（LGS下地）〈撤去〉
木製廻縁〈撤去〉
壁仕上：天然木タモ突板張りt=12
見切縁　CL塗
木製カーテンBOX
木製カーテンBOX
壁仕上：天然木タモ突板張りt=12（木胴縁共）
壁断面詳細図（一般）
卓球場
▽２ＦＬ
ポーチ
玄　関
屋内運動場
鉄骨小梁：H194×150×6×9　SOP塗
※現況のまま
ぶどう棚
グラスウール24Kg　厚100敷込み〈撤去〉
木製廻縁〈撤去〉
天井：石膏ボードt=9.5捨貼〈撤去〉
ロックウール吸音板t=12（LGS下地）〈撤去〉
間仕切り壁仕上：天然木タモ突板張りt=12（木胴縁共）
ステージ
ＧＬまで8,500
１ＦＬまで3,200
1,010　740
1,750　3,700　C通りまで6,500
E通りまで6,500　955　3,700　700
C断面
A断面
B断面
断面詳細図Ｂ　〈改修前〉　1:30
断面詳細図Ｃ　〈改修前〉　1:30
※〈　〉の特記なき仕上げは現況のままとする。
設計・監理　株式会社　Ｋ．設計（ケイ）　一級建築士事務所
□本　社：三木市志染町広野１－３８（Kビル）
□東京事務所：東京都港区西麻布１－１４－１５（西麻布ゆうきビル 201号室）
CHECK　橘田　藤原
DRAWING　田中
工事名　中町北小学校　屋内運動場　天井等耐震化工事
図面名　矩計詳細図２　<改修前>
DATE　H 27・2
SCALE　A1:1:30
PROJECT No.　150131
SHEET No.　A - 10
管理建築士　橘田　典博（一級建築士登録：第83571号）

鋼製折板屋根（山高さH150）ペフ裏貼
天井：石膏ボードt=9.5捨貼<撤去>
ロックウール吸音板t=12（LGS下地）<撤去>
木製廻縁<撤去>
時計
スピーカー
ギャラリー
最高高さ
水上梁天
水下梁天
2FL
1FL
GL
レリーフ：3000×1000程度
校歌額：3000×2000程度
誘導灯カバー
バスケットゴール
（壁面折畳式）
1,950
1,800
1,840
22,400
33,400
940
700
740
8,950
4,500
4,050
3,200
7,150
1,200
2,550
800
450
200
900
展開図A面　1:100
展開図C面　1:100
展開図B面　1:100
※展開図D面はこれに準ずる。
※<　>の特記なき仕上げは現況のままとする。
設計・監理
株式会社 K．設計
一級建築士事務所
本　社：三木市志染町広野1−38（Kビル）
東京事務所：東京都港区西麻布1−14−15（西麻布ゆうきビル 201号室）
CHECK
橋田
藤原
DRAWING
田中
工事名
中町北小学校　屋内運動場　天井等耐震化工事
図面名
展開図　＜改修前＞
DATE
H 27・2
SCALE
A1:1:100
PROJECT No.
150131
SHEET No.
A - 12
管理建築士　橋田　典博
（一級建築士登録：第83571号）

柱型仕上：既設鉄部　下地調整の上SOP２回塗〈新設〉
柱型仕上：既設モルタルコテ押エ　下地調整の上EP塗〈新設〉
鋼製折板屋根（山高さH150）ペフ裏貼
時計〈落下防止補強〉
※電気設備工事
壁仕上：既設天然木タモ突板張り　サンダー掛、下地調整の上CL塗〈新設〉
既設見切縁　下地調整の上CL塗〈新設〉
梁型仕上：既設鉄部　下地調整の上SOP２回塗〈新設〉
スピーカー〈落下防止補強〉
※電気設備工事
レリーフ：3000×1000程度〈落下防止補強〉
校歌額：3000×2000程度〈落下防止補強〉
鏡：1.9m×1.6m　フイルム貼〈新設〉
誘導灯カバー〈落下防止補強〉
※電気設備工事
最高高さ
水上梁天
水下梁天
２ＦＬ
１ＦＬ
ＧＬ
ギャラリー
展開図Ａ面　1:100
展開図Ｃ面　1:100
柱型仕上：既設モルタルコテ押エ　下地調整の上EP塗〈下地のみ新設〉
バスケットゴール〈保守点検、落下防止補強〉
（壁面折畳式）
展開図Ｂ面　1:100
※展開図Ｄ面はこれに準ずる。
大型額等の落下防止ワイヤー設置方法
壁面に固定した金物からステンレスワイヤーにて緊結する。
※金物は壁下地に確実に取付けること。
※ステンレスワイヤー端部はスリーブ等を用いて堅固にカシメること。
金物：株式会社水本機械製作所　アイプレートIP-12　同等品
ステンレスワイヤー：杉田エース株式会社　ステンレスワイヤーロープ(7×7)　ロープ径4ミリ　同等品
スリーブ：杉田エース株式会社　アームオーバルスリーブ　同等品
※〈　〉の特記なき仕上げは現況のままとする。
設計・監理
株式会社 Ｋ．設計
一級建築士事務所
□本　社：三木市志染町広野1－38（Kビル）
□東京事務所：東京都港区西麻布1－14－15
（西麻布ゆうきビル 201号室）
CHECK　橘田　藤原
DRAWING　田中
工事名　中町北小学校　屋内運動場　天井等耐震化工事
図面名　展開図　<改修後>
DATE　H 27・2
SCALE　A1:1:100
PROJECT No.　150131
SHEET No.　A - 13
管理建築士　橘田　典博
（一級建築士登録：第83571号）

天井伏図 〈改修前〉 1:100
天井伏図 〈改修後〉 1:100
女子更衣室
男子更衣室
照明器具用ボックス〈撤去〉
※電気設備工事
枠材：2C-125×65×6×8
33,400
22,400
5,600
6,500
3,700
凡例
ア 折板屋根ペフ裏貼
イ カーテンBOX UC塗
ウ カーテン〈養生〉
エ 石膏ボードt=9.5捨貼 ロックウール吸音板t=12 (LGS下地)
オ ブラインド
カ モルタル塗の上、EP塗装
キ 石膏ボードt=9.5捨貼〈撤去〉 ロックウール吸音板t=12 (LGS下地)〈撤去〉
ク 廻縁〈撤去〉
B50 鉄骨小梁：H500×200×10×16 SOP塗
B29 鉄骨小梁：H298×149×5.5×8 SOP塗
B25 鉄骨小梁：H250×125×6×9 SOP塗
B20 鉄骨小梁：H200×100×5.5×8 SOP塗
B194 鉄骨小梁：H194×150×6×9 SOP塗
V1 ブレース：L65×65×6 SOP塗
V2 ブレース：M22 SOP塗
— — — 点線は以下を示す
③通 鉄骨母屋：PL-9 SOP塗
②通、④通、①-②通間、④-⑤通間 鉄骨母屋：2C-100×50×20×3.2 SOP塗
— 工事範囲外(ステージ上部)
※〈 〉の特記なき仕上げは現況のままとする。
凡例
ア 折板屋根ペフ裏貼
イ カーテンBOX UC塗
ウ カーテン〈養生〉
エ 石膏ボードt=9.5捨貼 ロックウール吸音板t=12 (LGS下地)
オ ブラインド
カ 既設モルタル塗の上、EP塗装〈新設〉
ケ 既設見切縁 下地調整の上CL塗〈新設〉
G45 鉄骨大梁：H450×200×9×14 下地調整の上SOP２回塗〈新設〉
B50 鉄骨小梁：H500×200×10×16 下地調整の上SOP２回塗〈新設〉
B29 鉄骨小梁：H298×149×5.5×8 SOP塗
B25 鉄骨小梁：H250×125×6×9 下地調整の上２回塗〈新設〉
B20 鉄骨小梁：H200×100×5.5×8 下地調整の上SOP２回塗〈新設〉
B194 鉄骨小梁：H194×150×6×9 下地調整の上SOP２回塗〈新設〉
枠材 鉄骨枠材：2C-125×65×6×8 下地調整の上SOP２回塗〈新設〉
V1 ブレース：L65×65×6 下地調整の上SOP２回塗〈新設〉
V2 ブレース：M22 下地調整の上SOP２回塗〈新設〉
— — — 点線は以下を示す
③通 鉄骨母屋：PL-9 下地調整の上SOP２回塗〈新設〉
②通、④通、①-②通間、④-⑤通間 鉄骨母屋：2C-100×50×20×3.2 下地調整の上SOP２回塗〈新設〉
— 工事範囲外(ステージ上部)
※〈 〉の特記なき仕上げは現況のままとする。
設計・監理
株式会社 K.設計
一級建築士事務所
□本 社：三木市志染町広野1−38(Kビル)
□東京事務所：東京都港区西麻布1−14−15 (西麻布ゆうきビル 201号室)
CHECK 橘田 藤原
DRAWING 田中
工事名 中町北小学校 屋内運動場 天井等耐震化工事
図面名 天井伏図 ＜改修前・後＞
DATE H 27・2
SCALE A1:1:100
PROJECT No. 150131
SHEET No. A - 14
管理建築士 橘田 典博 (一級建築士登録：第83571号)

電気設備工事　仕様書

1．工事概要	
工事名称	中町北小学校屋内運動場　天井等耐震化工事
工事場所	兵庫県多可郡多可町中区鍛冶屋４３４
2．特記事項	
共通仕様書	本工事は本特記仕様書並びに設計図に基づき、
	公共建築（改修）工事標準仕様書及び公共建築設備工事標準図（各電気設備工事編・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修・最新版）
	建築基準法、消防法・内線規定等の関係諸規定に準拠し完全に施工のこと。
諸　手　続	本工事に必要な諸官庁及び電力会社への申請は全て請負者が行い、費用も全て請負者負担とする。
軽微な変更	設計図、仕様書の中で納まり、又は取り合い関係が生じた軽微な変更、並びに本設計図に明記なき事項でも機能上、
	当然必要な事項は係員の指示に従い施工すること。尚、この場合原則として工事費の増額は行わない。
工　程　表	請負者は工事着手前に施工図及び工程表を作成し係員の承諾を受けた後、施工すること。
	尚、照明灯具盤類は製作図を作成し、係員の承諾後、発注製作すること。
現場責任者	工事請負者は工事着手と共に現場担当技術者を定め、その資格、業務内容等を明示した書類を提出し、係員の承認を受けること。
設計図書優先順位	設計図書中の相互に差異のある場合の優先順位は次の通りとする。但し、現場説明事項及び質疑回答書は最優先とする。
	1）特記仕様書　2）設計図書　3）共通仕様書
立ち会い検査	各工事は、予め係員の支持した工程に達した時、立ち会い検査を受けること。
	施工後の検査が不可能又は困難な工事は、その施工に際し立ち会い検査を受けること。
提出書類	施工時において、下記の書類、図面等２部を指定の様式に従い１ケ月以内に提出すること。
	1）工事記録写真　2）竣工写真　3）機器取扱説明書及び保証書　4）各種試験成績書　5）機器完成図書
	6）竣工図　7）予備品目録　8）ＣＡＤデーター（ＤＸＦ）
動力・水・その他	1）仮設工事用電力及び水並びに諸手続等の費用は全て請負者の負担とする。
	2）本設備の電力、水等は使用開始日以降市負担、工事期間中は請負者の負担とする。
消防検査	1）消防検査及びその手続きを行うこと。
	2）上記の費用は請負者の負担とする。

工事種目		名　称				
		受　変　電	設　備　工　事	・	・	
		幹　　線	設　備　工　事	・	・	
		動　　力	設　備　工　事	・	・	
	1	電灯コンセント	設　備　工　事	⊙	・	
		電　　話	設　備　工　事	・	・	
		Ｌ　Ａ　Ｎ	設　備　工　事	・	・	
		テレビ共聴	設　備　工　事	・	・	
		インターホン	設　備　工　事	・	・	
	2	放　　送	設　備　工　事	⊙	・	
	3	誘　導　灯	設　備　工　事	⊙	・	
		機械警備	設　備　工　事	・	・	
	4	自動火災報知	設　備　工　事	⊙	・	
		電　気　錠	設　備　工　事	・	・	
		Ａ　Ｖ　警　備	設　備　工　事	・	・	

一般事項	特記仕様書の内容が設計図と相違する場合は、特記仕様書。	
	1）特記なき電線は６００Ｖ、ＥＭ-ＩＥ電線とし、色別表示を行うこと。尚、ケーブル類はテープ巻にて色別表示のこと。	
	2）配線器具は原則として大角連用形としてプレートは（⊙　新金属　・　フルカラー　・　コスモワイド　）とする。	
	3）スイッチが４ケ以上になる場合は、ネームスイッチとする。	
	4）蛍光灯の４０Ｗ以上は、ＲＨ（　・　一般型　・　省電力型　）とする。４０Ｗ未満はＧＨとする。	
	5）ＨＩＤ器具用安定器は、（　・　一般高力率　・　低始動電流型高力率　）とする。	
	6）非常照明器具は、（　・　電池内蔵式　・　電源別置式　）とする。	
	7）空配管には、呼線１，２mmビニール被覆鉄線挿入のこと。	
	8）特記なき電線管は（　・　ＣＰ　⊙ＥＰ　・　ＰＦ－Ｓ　・　ＰＦ－Ｄ　・　ＣＤ　）とする。	
	9）地中埋設配管は、	
	・　ＰＥライニング鋼管　・　ＨＩＶＥ　・　ＦＥＰ［難燃性タイプ］　・　ＰＦ－Ｄ［車両等の圧力を受けない場所］とする。	
	１０）埋設深さは特記なき限り（　・　ＧＬ－３００　・　ＧＬ－６００　・　ＧＬ-1200　）以上とする。	
	１１）露出配管は、（　・　無塗装　⊙　指定色調合ペイント２回塗　・　エッチングプライマー処理）とする。	
	１２）接地極は特記なき限り下記による。（　・　接地埋設標取付）	
	第Ａ種　・　第Ｂ種　特別第Ｃ種（　・　銅板１，５ｔ×９００×９００　・　銅被覆鋼棒１４φ×１，５００×２連結）	
	第Ｄ種　（　・　銅板１，５ｔ×５００×２５０　・　銅被覆鋼棒１４φ×１，５００×２連結）	
	測定用　（　・　銅被覆鋼棒１０φ×１，０００）	
	１３）アウトレットボックスは、（　・　ＶＥ製　⊙　鋼製　）する。	
	１４）屋外プルボックス類は、（　・　ＶＥ製　・　鋼製　⊙　ＳＵＳ　）する。	
	１５）埋設シートは、（　・　１倍　・　２倍　・　３．５倍　）折りする。	
	１６）建物外部及び多湿部分の配管、機器等の支持金物、ビス、ボルト等はステンレスとする。	
	１７）ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ､ｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄ及び電気用点検口については用途表示すること。(ｱｸﾘﾙｴｯﾁﾝｸﾞ､ﾋﾞｽ留めによる)	
	１８）工事着工前に既設電気設備を詳細調査のうえ施工のこと。	
	１９）図中の姿図(品番)は参考とし係員の承諾を得て施工着手のこと。	
	２０）ｺﾝｾﾝﾄﾌﾟﾚｰﾄには回路番号表示を行う事。	
使用資材	電線・ケーブル	JIS規格品
	電線管	JIS規格品
	分電盤・端子盤	因幡　河村　大日　中立　内外　日東　パナソニック
	照明器具	岩崎　ＥＮＤＯ　大光　小泉　東芝　三菱　パナソニック
	配線器具	神保　寺田　東芝　日亜　パナソニック
	放送機器	ＴＯＡ　東芝　JCVｹﾝｳｯﾄﾞ　パナソニック　ユニペックｽ
	火報・防火戸	ニッタン　能美防災　ホーチキ　パナソニック

凡　例	名　称・仕　様	備　　考
	電　灯　盤	
	高天井用ＬＥＤ照明	
	ＬＥＤ照明	（２灯用）
	既設蛍光灯照明	（２灯用）
	誘導灯	
2	埋込コンセント	1口・2口
ⓣ	インターホン	
	直列ユニット	
	埋込スイッチ片切	
	埋込スイッチ	
	リモコンスイッチ	
	弱電端子盤	
	ﾜｲﾔﾚｽｱﾝﾃﾅ	
G	壁付ｽﾋﾟｰｶ	ﾒｲﾝｽﾋﾟｰｶ　壁掛型ｽﾋﾟｰｶ
	プルボックス	別途記載
	時計	
	既設配線	
	立上り、立下り	

設計・監理 株式会社 Ｋ（ケイ）．設計 一級建築士事務所	□本　社：三木市志染町広野１－３８（Ｋビル） □東京事務所：東京都港区西麻布１－１４－１５（西麻布ゆうきビル　２０１号室）	CHECK			DRAWING	工事名	中町北小学校　屋内運動場　天井等耐震化工事	DATE	PROJECT No.	SHEET No.
		橘田	藤原		田中			H 27・2	150131	E - 01
						図面名	特記仕様書	SCALE	管理建築士（一級建築士登録：第83571号）	橘田　典博
								A1:1:100		

放送室
Ａ３２２　×１台　既設
ステージ/控え室
Ｆ３２２　×１６台　既設
Ｍ３２１　×１台　〃
ステージ/下部
Ｌ３２１Ｇ　×２台　既設
外壁/　外灯
Ｎ２１Ｇ　×６台　既設
男子・多目的便所/前室
Ｃ３２１ＷＧ×２台　既設
Ｅ２４Ｗ　×３台　既設
女子便所
Ｃ３２１ＷＧ×２台　既設
玄　関・外部
Ｄ４５４　×２台　既設
Ｋ２１　×２台　既設
器具庫
Ｌ３２１Ｇ　×３台　既設
屋内運動場
Ｇ７００　×２４台　新設
卓球場
Ａ３２２　×１５台　新設
１階平面図　1:100
２階平面図　1:100
G400　LED高天井器具2000形　直付型　水銀灯400形器具相当
側面ｶﾞｰﾄﾞ・下面拡散ﾊﾟﾈﾙ付ｶﾞｰﾄﾞ
調光可能（約２５～８５%）
昼白色、５０００Ｋ、Ｒａ７０
器具光束２３７００ｌｍ、消費電力１８８Ｗ、
電圧１００～２４２Ｖ
本体：アルミ、パネル：ポリカーボネート（透明）
光源寿命６００００時間（光束維持率８５%）
広角
※機器附属落下防止ﾜｲﾔ設置に加えて
別途もう1本落下防止ﾜｲﾔｰを施すこと
パナソニック　ＮＮＹ２０６２１ＫＬＸ９相当品
照明器落下防止補強、ﾜｲﾔｰﾛｰﾌﾟ吊参考例
ﾈｸﾞﾛｽ電工株式会社
BHIL150 同等品
梁
落下防止ワイヤー
溶接等で堅固に支持する事
振れ止め用支持材
ｱﾘｰﾅ照明器具の落下防止ﾜｲﾔｰ設置方法
参考例を参照に現場にて調整する事
ﾜｲﾔｰ　：杉田ｴｰｽ株式会社　ｽﾃﾝﾚｽﾜｲﾔｰﾛｰﾌﾟ(7×7)ﾛｰﾌﾟ径4ﾐﾘ　同等品
ｽﾘｰﾌﾞ：杉田ｴｰｽ株式会社　ｱｰﾑｵｰﾊﾞｰﾙｽﾘｰﾌﾞ　同等品
A322　ＬＤＬ４０×２　反射笠付型
直管LEDランプ搭載（JEL801規格適合商品）
ランプ素材：ガラス管、Ｒａ：８４
反射板：鋼板（高反射白色粉体塗装）
光源寿命４００００時間
パナソニック　ＮＮＦ４２２１９ＪＬＥ９相当品
注記
特記無き配線配管は下記による
EM-IE2.0×3（1E）(EP19)
EM-IE2.0×5（1E）(EP25)
EM-IE1.6×2　(EP19)
EM-IE1.6×3（1E）(EP19)
EM-IE1.6×4（1E）(EP19)
EM-IE2.0×7(1E)+EM-IE1.6×2　(EP31)
P.BOX□200×100 錆止め塗装＋指定色調合ﾍﾟｲﾝﾄ2回塗
P.BOX□150×100 錆止め塗装＋指定色調合ﾍﾟｲﾝﾄ2回塗
丸露出ボックス3方出　(E31)
図中特記無き点線箇所は既設のままとする
図中特記無き実線は新設とする
設計・監理
株式会社　Ｋ．設計
一級建築士事務所
□本　社：三木市志染町広野１－３８（Ｋビル）
□東京事務所：東京都港区西麻布１－１４－１５（西麻布ゆうきビル　２０１号室）
CHECK　橋田　藤原
DRAWING　田中
工事名　中町北小学校　屋内運動場　天井等耐震化工事
図面名　電灯設備改修後図
DATE　H 27・2
SCALE　A1:1:100
PROJECT No.　150131
SHEET No.　E - 03
管理建築士　橋田　典博
（一級建築士登録：第83571号）

1階平面図 1:100
2階平面図 1:100
ステージ
下部椅子収納部
控室
放送室
緞帳用操作スイッチ
フロアコンセントボックス/C型20A×3ヶ
既設のまま
屋内運動場
※1階コンセントは既設のまま
器具庫
玄関
ポーチ
スロープ
花壇
多目的便所
前室
女子便所
男子便所
渡り廊下
緞帳用電動機
吹抜
ステージ前ネット
セパレーターネット
妻側ネット
サイドネット
歩廊
手摺
卓球場
女子更衣室
男子更衣室
換気扇脱着 電気設備工事
シート防水１２着色仕上
スロープ屋根
渡り廊下屋根
注記
特記無き配線配管は下記による
EM-IE2.0×3 (1E)(EP19)
EM-IE2.0×5 (1E)(EP19)
EM-IE2.0×6 (1E)(EP25)
EM-IE1.6×2 (EP19)
EM-IE1.6×3 (1E)(EP19)
EM-IE1.6×4 (1E)(EP19)
EM-IE2.0×3(1E)+EM-IE1.6×2 (EP25)
EM-IE2.0×7(1E)+EM-IE1.6×2 (EP31)
P.BOX□200×100 鋼製さび止め
P.BOX□150×100 鋼製さび止め
丸露出ボックス3方出 (E31)
図中特記無き点線箇所は既設のままとする
図中特記無き実線は撤去とする
図中 脱 は脱着を示す。
設計・監理
株式会社 K.設計
一級建築士事務所
□本 社：三木市志染町広野１－３８（Kビル）
□東京事務所：東京都港区西麻布１－１４－１５
（西麻布ゆうきビル ２０１号室）
CHECK
橋田
藤原
DRAWING
田中
工事名
中町北小学校 屋内運動場 天井等耐震化工事
図面名
コンセント設備撤去図
DATE
H 27・2
SCALE
A1:1:100
PROJECT No.
150131
SHEET No.
E - 04
管理建築士 橋田 典博
（一級建築士登録：第83571号）

1階平面図 1:100
2階平面図 1:100
ステージ
下部椅子収納部
控室
屋内運動場
放送室
緞帳用操作ｽｲｯﾁ
フロアコンセントﾎﾞｯｸｽ/C型20A×3ヶ
既設のまま
至る分電盤
器具庫
玄関
ポーチ
スロープ
花壇
手足洗場
水勾配
前室
多目的便所
女子便所
男子便所
渡り廊下
アスファルト縁石まで、
15300
緞帳用電動機
既設のまま
吹抜
ステージ前ネット
セパレーターネット
妻側ネット
サイドネット
歩廊
手摺
卓球場
女子更衣室
男子更衣室
既設ﾎﾞｯｸｽ内で
既設配線に接続
換気扇脱着 電気設備工事
シート防水１２着色仕上
スロープ屋根
渡り廊下屋根
22880
22400
24280
34240
34840
注記
特記無き配線配管は下記による
EM-IE2.0×3 (1E)(EP19)
EM-IE2.0×5 (1E)(EP19)
EM-IE2.0×6 (1E)(EP25)
EM-IE1.6×2 (EP19)
EM-IE1.6×3 (1E)(EP19)
EM-IE1.6×4 (1E)(EP19)
EM-IE2.0×3(1E)+EM-IE1.6×2 (EP25)
EM-IE2.0×7(1E)+EM-IE1.6×2 (EP31)
P.BOX□200×100 錆止め塗装＋指定色調合ﾍﾟｲﾝﾄ2回塗
P.BOX□150×100 錆止め塗装＋指定色調合ﾍﾟｲﾝﾄ2回塗
丸露出ボックス3方出 (E31)
図中特記無き点線箇所は既設のままとする
図中特記無き実線は新設を示す
図中 脱 は脱着を示す。
設計・監理
株式会社 K .設計
一級建築士事務所
□本 社：三木市志染町広野１－３８（Kビル）
□東京事務所：東京都港区西麻布１－１４－１５
（西麻布ゆうきビル ２０１号室）
CHECK
橋田
藤原
DRAWING
田中
工事名
中町北小学校 屋内運動場 天井等耐震化工事
図面名
コンセント設備改修後図
DATE
H 27・2
PROJECT No.
150131
SHEET No.
E - 05
SCALE
A1:1:100
管理建築士
橋田 典博
（一級建築士登録：第83571号）

1階平面図 1:100
図中の特記なき配線配管は下記の通りとする。
EM-HP1.2-2C(PF16)/壁内ｲﾝﾍﾟｲ
EM-HP1.2-3C(PF16)/壁内ｲﾝﾍﾟｲ
EM-HP1.2-2C(PF16)/床・壁内ｲﾝﾍﾟｲ
ラック型ｱﾝﾌﾟ/既設
機器仕様図参照
弱電端子盤T-1A/埋込型/既設
P400*400*200/既設のまま
パルス発生器・モニター子時計 既設のまま
MVVS0.75-2C*2(PF22)/既設のまま
MVVS0.75-2C(PF16)/既設のまま
EM-IE1.6*2(PF16) 既設のまま
屋体電灯分電盤/埋込型/既設
ステージ
下部椅子収納扉
控室
屋内運動場
HP1.2-3C(PF16)*2/既設のまま
HP1.2-3C(PF16)*1/既設のまま
MVVS0.75-2C(PF16)+HP1.2-3C(PF16)/既設のまま
AE1.2-4C(PF16)/既設のまま
壁掛型ｽﾋﾟｰｶｰ/5W
脱着
MVVS0.75sq-2C(PF16)
床下/露出・壁内ｲﾝﾍﾟｲ配管配線 既設のまま
PB200*200*150/既設
PB200*200*150(WP)(SUS)/既設のまま
自火報と共用
放送+ｲﾝﾀｰﾎﾝ/EM-HP1.2-5Pr*2(31)/露出/既設のまま
EM-EBT0.4-2P
器具庫
玄関
男子便所
女子便所
多目的便所
前室
ポーチ
スロープ
花壇
渡り廊下
アスファルト縁石まで、15300
2階平面図 1:100
HP1.2-3C/既設のまま
HP1.2-3C(E19)/撤去
HP1.2-3C/撤去
ﾒｲﾝｽﾋﾟｰｶｰ/S-1 脱着
4S10F*1 既設のまま
4S10F*2 既設のまま
ステージ前ネット
セパレーターネット
妻側ネット
サイドネット
ギャラリー
吹抜
壁掛型ｽﾋﾟｰｶｰ/5W
S-5 脱着
放送+ｲﾝﾀｰﾎﾝ/EM-HP1.2-5Pr*2(E31)
EM-EBT0.4-2P
撤去
放送+ｲﾝﾀｰﾎﾝ/EM-HP1.2-5Pr*2
EM-EBT0.4-2P 撤去
放送+ｲﾝﾀｰﾎﾝ/EM-HP1.2-5Pr*2(28)
EM-EBT0.4-2P
既設のまま
卓球場
女子更衣室
男子更衣室
PB200*200*200(WP)(SUS)/既設
自火報と共用
シート防水t2着色仕上
スロープ屋根
渡り廊下屋根
注記
図中の特記なき配線配管は下記の通りとする。
EM-HP1.2-2C(19)/露出
EM-HP1.2-3C(19)/露出
EM-HP1.2-2C(PF16)/壁内・床ｲﾝﾍﾟｲ
EM-HP1.2-3C(PF16)/壁内・床ｲﾝﾍﾟｲ
図中特記なき点線箇所は既設のままとする。
図中特記なき実線は撤去とする。
図中脱着は　脱着を示す。
設計・監理
株式会社 K.設計
一級建築士事務所
本　社：三木市志染町広野1－38（Kビル）
東京事務所：東京都港区西麻布1－14－15（西麻布ゆうきビル 201号室）
CHECK 橋田 藤原
DRAWING 田中
工事名 中町北小学校 屋内運動場 天井等耐震化工事
図面名 弱電設備撤去図
DATE H 27・2
SCALE A1:1:100
PROJECT No. 150131
SHEET No. E - 06
管理建築士 橋田 典博
（一級建築士登録：第83571号）

1階平面図 1:100
2階平面図 1:100
X−BG LED避難口誘導灯
既設復旧 避難口誘導灯/片面型
※ガードの落下防止対策を施すこと
ガード付
ST1−FBF20−BL
Y−B LED通路誘導灯/ガード無し
再取付 通路誘導灯/片面型
非難方向矢印付
ST1−FSF23−BL
X−B LED避難口誘導灯
再取付 避難口誘導灯/片面型
ST1−FBF20−BL
注記
図中の特記なき配線配管は下記の通りとする。
B)誘導灯
——— EM-IE1.6×2 (EP19)錆止め塗装＋指定色調合ﾍﾟｲﾝﾄ2回塗
- - - - EM-EEF1.6-2C(PF16)/ｲﾝﾍﾟｲ
☒B P.BOX□150×100 錆止め塗装＋指定色調合ﾍﾟｲﾝﾄ2回塗
図中の特記なき点線箇所は既設のままとする。
図中の特記なき実線は新設とする。
図中復旧は撤去後再取付を示す。
図中特記無き落下防止補強は建築工事の落下防止補強に準ずる。
設計・監理
株式会社 K．設計
一級建築士事務所
□本 社：三木市志染町広野１−３８（Kビル）
□東京事務所：東京都港区西麻布１−１４−１５
（西麻布ゆうきビル ２０１号室）
CHECK 橋田 藤原
DRAWING 田中
工事名 中町北小学校 屋内運動場 天井等耐震化工事
図面名 誘導灯設備改修後図
DATE H 27・2
PROJECT No. 150131
SHEET No. E − 09
SCALE A1:1:100
管理建築士 橋田 典博
（一級建築士登録：第83571号）

1階平面図 1:100
2階平面図 1:100
回路試験器 既設
弱電端子盤/埋込型/既設 40Pr 弱電と共用
AP/空気管 既設
EM-HP1.2-5P(PF22)*2/既設
分布型感知器収納盤/既設
分布型感知器*4ケ共撤去
EM-HP1.2-5P(PF22)*2/既設 床下/露出配管配線
総合盤/埋込型 ｶﾞｰﾄﾞ付/既設
EM-HP1.2-5P(PF22)/既設 床下/露出配管配線
屋内運動場
ステージ
放送室
控室
器具庫
玄関
ポーチ
スロープ
花壇
既設のまま
PB200*200*150(WP)(SUS)/既設 弱電と共用
自火報EM-HP0.9-15Pr(31) 既設
渡り廊下
アスファルト縁石まで、15300
図中の特記なき配線配管は下記の通りとする。
A)自火報 壁部分はみぞはつり/インペイ配管
EM-IE1.2*2(PF16)/ｲﾝﾍﾟｲ
EM-IE1.2*3(PF16)/ｲﾝﾍﾟｲ
EM-IE1.2*2(PF16)/ｲﾝﾍﾟｲ
図中の特記なき点線箇所は既設のままとする。
AP/空気管 天井裏既設のまま
P.B□150*100/既設
撤去 AP(19)*4
ステージ前ネット
天井面・撤去 AP/空気管
天井裏撤去 AP/空気管
EM-HP1.2-5P(PF22)/配線のみ撤去 壁内/配管配線
AP/空気管 天井面・撤去
自火報EM-HP0.9-15Pr 撤去
AP/空気管 天井裏撤去
セパレーターネット
総合盤/露出型 既設のまま
総合盤/露出型 既設
分布型感知器2ｹ収納 撤去
AP(19)*4撤去
妻側ネット
卓球場
天井裏
天井面
撤去
PB200*200*150(WP)(SUS)/既設 弱電と共用
自火報EM-HP0.9-15Pr 撤去
自火報EM-HP0.9-15Pr(36) 露出配管配線 既設のまま
シート防水t2重色仕上
スロープ屋根
渡り廊下屋根
凡例
記号 | 名称 | 備考
Ⓑ◐Ⓟ | 総合盤 | Ⓑ◐Ⓟ 内蔵（既設）
Ⓟ | 発信機 | P型1級
◐ | 表示灯 | LED AC・DC24V
Ⓑ | ベル | 150φ DC24V
 | 差動式スポット型感知器 | 2種
 | 空気管 | メッセンジャーワイヤー付
 | 差動式分布型感知器 | 2種 収納箱付
 | 配管配線 |
⊠ | プルボックス |
⊗ | ジョイントボックス |
 | 立上げ・立下げ |
 | 自火報警戒区域境界線 |
 | 自火報警戒区域番号 | No.16～17
注記
1. 図中特記なき点線箇所は既設のまま、実線箇所は撤去を示す。
2. 図中特記なき配管配線は下記による。
EM-AE1.2-4C (19)
ただし、二重天井内はケーブルころがし配線とする。
設計・監理 株式会社 K.設計 一級建築士事務所
本社：三木市志染町広野1－38（Kビル）
東京事務所：東京都港区西麻布1－14－15（西麻布ゆうきビル 201号室）
CHECK 橋田 藤原
DRAWING 田中
工事名 中町北小学校 屋内運動場 天井等耐震化工事
図面名 自火報設備撤去図
DATE H 27・2
PROJECT No. 150131
SHEET No. E - 10
SCALE A1:1:100
管理建築士 橋田 典博（一級建築士登録：第83571号）

凡	例	
記　号	名　　称	備　　考
Ⓑ◐Ⓟ	総合盤	Ⓑ◐Ⓟ 内蔵（既設）
Ⓟ	発信機	Ｐ型１級
◐	表示灯	ＬＥＤ　ＡＣ・ＤＣ２４Ｖ
Ⓑ	ベル	１５０φ　ＤＣ２４Ｖ
⊖	差動式スポット型感知器	２種
―○―	空気管	メッセンジャーワイヤー付
⌛	差動式分布型感知器	２種　収納箱付
――	配管配線	
⊠	プルボックス	P.BOX□150×100 錆止め塗装＋指定色調合ﾍﾟｲﾝﾄ2回塗
⊗	ジョイントボックス	丸ボックス
↗ ↙	立上げ・立下げ	
―-―-―	自火報警戒区域境界線	
№	自火報警戒区域番号	№１６～１７

注　記

１．図中特記なき点線箇所は既設、実線箇所は新設を示す。
２．図中特記なき配管配線は下記による。
　―///―　EM-AE1.2-4C　(EP19)
　ただし、二重天井内はケーブルころがし配線とする。
３．アリーナ天井裏回路撤去に伴い、既設受信機地区窓表示及び警戒区域図を更新すること。

２階平面図　1:100

設計・監理　株式会社 K．設計　一級建築士事務所
□本　社：三木市志染町広野１－３８（Kビル）
□東京事務所：東京都港区西麻布１－１４－１５（西麻布ゆうきビル　２０１号室）
CHECK　橘田　藤原
DRAWING　田中
工事名　中町北小学校　屋内運動場　天井等耐震化工事
図面名　自火報設備改修後図
DATE　H 27・2
SCALE　A1:1:100
PROJECT No.　150131
SHEET No.　E - 11
管理建築士　橘田　典博　(一級建築士登録：第83571号)